

よえもん

2015年11月

第 31 号

シリーズ
よえもん

あくこうざん
渕岡山



今月のことば

藤樹先生の門人の中に、名高い人として渕岡山がいます。仙台出身の渕岡山は、たびたび仕事で近江に来る事があって、そんなときに藤樹先生の学徳のうわさを聞き、ぜひ会いたいと考えていました。

小川村へ着いた岡山は、まず門弟の中川謙叔をたずねて頼みこんで、ようやく藤樹先生に会うことができました。岡山は、藤樹先生の人柄にすがり心を打たれ、すぐに弟子入りをしました。そして、先生が亡くなられるまでの間、先生の教えを正しく深く学びました。



後に、岡山は京都で塾を開き、「藤樹先生の良知の学」を全国にひろめました。こうして、藤樹門下には90人近くの弟子が育ちました。

書・渕岡山
出典・中江藤樹の和歌

茂りそゝ木の間の
おくにさく花の
色ゆかしくも
見ゆる物かな

この和歌は、「茂った木々の間から奥の方でさりげなく咲いている花は上品で、なんとなく心がひかれるものだ。」という意味です。藤樹は、この和歌の題を「衣錦尚絅」としています。これは、「詩經」〈頑人〉にある文言で、「美しい錦の着物の上にうすい单衣をはおって、その美しさを外に表さないようにする。」という意味で、君子は謙虚でいるということを例えたものです。「才能や徳などを誇示するがないように」ということです。

～お知らせ～

やさしい「論語」入門講座

11月21日、28日、12月5日、12日、1月23日の計5回(土)の13:30~15:00、山本義雄氏を講師に迎え開催します。

人生に役立つ古典の名言・名句を学んでみませんか？大勢のみなさまのご応募をお待ちしております！

なお、参加申込書は、各支所、各公民館、図書館、高校等に置かせていただいています。

近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL/FAX (0740)-32-0330

記念館さんぽ

徐々に色づいてきた陽明園には、大きなカリンの実が、今年はたくさんついています。硬くて生では食べれませんが、薬用成分があるので、活用してみてください！

